

土地ノ完全ナル成功ヲ遂ケ難キコトモアリ加之自作者ニ比シ小作者ハ其土地ニ安定スルコト少ナク常ニ移動ヲ來シ充分ニ土地ノ開發ヲ進捗セシメサルモ自作者ニ於テハ自己所有地タルヲ以テ周到ナル開墾方法集約的土地利用ヲ圖ルカ爲メニ耕地ヲ荒廢セシムルコト少ナク從テ生産力ヲ増加ス又本道ノ如キ殖民地ニアリテハ一日モ早ク村落ヲ形成セシメ町村自治ノ本体ヲ具備セシムル爲メ土着心アル村民ノ増加ヲ圖ルコト必要ナリ然ルニ貸地農ニアリテハ土地耕作者ハ小作者ナルヲ以テ土着心少ナク農業者ハ常ニ移動シ確實ナル村民ト爲ルコト能ハサルハ本道拓殖ノ實ヲ擧クル上ニ於テ遺憾ナルコト多シ更ニ之ヲ農業經營上ヨリ觀レハ自作者ノ土地利用ハ合理的ナルモ貸地農ニアリテハ土地ノ利用ハ粗漫タルヲ免レズ從テ土地生産ニ及ホス影響少ナカラス且ツ自作ニアリテハ永久的土地改良ノ施設ヲ爲セトモ貸地農ハ自作農ニ比シ常ニ劣ルコト明ナリ殊ニ地力維持ニ關シ施肥ノ如キハ小作者ハ自作者ニ比シ同一ナルコト能ハス自作者ハ常ニ自己所有地ヲ經營スルヲ以テ地力ノ維持ヲ計ルニ汲々タルモ小作者ハ之レカ地力ノ維持等ニ關シ心ヲ勞スルモノ少ナク若シ地力減耗ノ場合ハ他ノ地方ヘ移轉スルノ覺悟ヲ有スルモノ多シ故ニ此等ノ地方關係ハ將來生産上ニ影響スルコト大ニシテ理想的農業經營ヲ行ハントスルニ於テハ自作農業者タラサルヘカラス又農業者ソレ自身ノ收益ニ於テモ自作農ハ小作者ニ比シ常ニ多大ナルモノアルヲ見テモ自作農業ノ有益アルヲ知リ得ヘシ更ニ國民經濟上ヨリ之ヲ觀レハ既ニ述ヘタルカ如ク自作農ハ土地ノ永久的施設ノ完全ナルト利用ノ集約ナルト地力ノ維持ニ品ムル結果ハ之レカ生産力ハ貸地農ニ比シ優リ國民經濟上ニ及ホス影響多大ナルモノアルヘシ更ニ之ヲ社會政策上ヨリ見ルニ貸地農ハ將來ニ於テ富ノ懸隔ヲ來ス階梯タルモノナルヲ以テ自作農ヲ増加セサルヘカラス即チ貸地農ハ一面ニ徒食ノ民ヲ作ル傾アリ即チ極端ニ言ヘハ小作者ニヨリ衣食ヲ充サントノ目的ヲ有スルモノアリ結局富ノ分配其ノ宜シキヲ得ズ地主對小作者ノ關係ハ工業界ニ於ケル資本家對労働者ト同様ノ状態ニ陥ルノ陋害ナキニシモアラサルヲ以テ本道ノ如キ成ル可ク貸地農ヲ減少スルノ策ヲ取り健實ナル土着心ヲ有スル自作農業者ノ増加ヲ圖ルコト緊要ナルヘシ其手段種々アリト雖吾人ハ左ノ二策ヲ以テ最モ主要ナルモノトス

第一成ル可ク大地積ノ處分ヲ爲サ、ルコト從來ハ開拓事業ノ不進歩交通ノ不便等ノ種々ナル事情ヨリ大地積ノ處分ヲナス必要ナリシナランモ今後ハ成ル可ク大地積ノ賣拂處分ヲナス主トシテ自作的農業ヲ經營スルニ要スル地積ニ制限シテ土

ノ貸付賣拂ヲ爲スコト、スヘシ然ラハ大地積ノ農場ヲ増加セサルコト、ナリ從テ小作者ハ増加セズ自作農ハ増加スヘシ地殊ニ土地ノ貸付賣拂ニ就テハ能ク其人物ニ就テ注意シ本道内ニ於テ嘗テ土地ヲ所有セサルモノニ許可スルノ方針ヲ採ルコトニスヘシ

第二國家地方廳若クハ會社ヲシテ貸地農ノ土地ヲ買收シ小作者等ニ適當ナル條件ノ下ニ之ヲ讓與セシメ自作農ノ増加ヲ圖ルコト現今多クノ貸地農ノ小作者ヲシテ自作者タラシメンカ爲メ國家若クハ地方廳或ハ之レカ目的ノ爲メ設立シタル會社ヲシテ農場ヲ買收シ小作者ニ分割讓與シ低利ニシテ年賦償還法ヲ以テ資金ノ回收ヲナシムル方法ヲ採ルコト所謂地代農地設定ノ方法ヲ講スルコトハ自作者ヲ増加スルニ最モ適當ナル政策ナリ(第一卷土地參照)

斯クノ如ク本道拓殖政策上ヨリ見農業經營上ヨリ考ヘ且ツ國民經濟及社會政策上ヨリ觀察スレハ本道ニ於テハ自作農ヲ益増加セシムルハ必要ニシテ有利ナル政策ナリ然リト雖本道ニ於テ貸地農カ從來爲セル効績ハ之レ亦決シテ忘却スルコト能ハサルナリ移民招徠ニ對スル開拓使時代ノ直接保護政策廢セラレ間接保護政策行ハル、ヤ國家ニ代リ能ク移民招徠ノ任ニ當リタルモノハ實ニ主トシテ貸地農業者ナリキ彼等ハ少ナカラサル資金ヲ投シ郷里其他ヨリシテ多數ノ小作者ヲ募集シ以テ移民ノ増加ヲ圖レリ若シ政府カ直接保護政策ヲ廢止セシ際貸地農殊ニ大地主ノ活動無カリシナラハ今日ノ如キ本道ノ人口ヲ見ル或ハ不可能ナリシヤモ知ル可カラス彼等ハ又土地改良事業等ニ向ツテ幾多ノ投資ヲ爲セリ是レ經濟的實力ノ薄弱ナル小農ノ企テ及フトコロニアラサルナリ假令貸地農ノ反面タル小作者ハ自作農ニ比シ種々ノ點ニ於テ劣レリト雖自作の大農ノ未タ起ラサル本道ニ於テハ大農ニ代ツテ能ク其ノ職責ヲ全スルモノハ實ニ大地主ナリト云ハサルヘカラス果シテ然ラハ貸地農ハ本道拓殖上多少ノ弊害アルモ尙全然之レヲ否定スルコト能ハサルナリ能ク其數ノ多少ト所有地面積ノ廣狹トニ留意スヘキナリ是レ曩キニ現今本道ニ於テハ貸地農ノ増加ヲ防止セサル可ラスト主張セシニモ拘ハラヌ一面又貸地農及小作農ニ對スル施設ヲ論究スルノ必要アル所以ナリ

今日本道ノ貸地農カ事業ノ經營上最モ困難ヲ感シツ、アルハ適當ナル條件ノ下ニ所要ノ資金ヲ容易ニ融通スル事能ハサルニ在リ本道ニ於ケル貸地農ハ既ニ述ヘシ如ク有利ナル資本的企業ナリ彼等ニ向ツテ資金供給ノ途ヲ計ルハ即チ貸地農ヲシ

テ拓殖上ニ於ケル責務ヲ完カラシムルト共ニ其企業ヲシテ有利的ニ成效セシムルノ途ナリ而シテ資金融通ノ途ヲ開クハ農業金融機關ノ活動ニ俟タサル可ラス如何ニシテ本道ノ農業金融機關ヲ活動セシメ資金融通ノ途ヲ開クヘキヤニ就テハ吾人ハ土地及農業金融ニ於テ論スルヲ以テ茲ニハ之ヲ陳述ノ要アラサルヘシクノ如ク貸地農ニハ拓殖上重要ナル責務アリ且ツ今日ノ如ク經濟的資力ノ薄弱ナルモノ、ミ本道ニ移住スル時代ニ於テハ自作農ノミヲ増加シ小作農ヲ全減セント欲スルカ如キハ策ノ得タルモノニアラス又不可能ナル政策ナリ故ヲ以テ吾人ハ自作農ヲ増加シ小作農ヲ減少セシムル方策ヲ講スルト共ニ一面又小作農ヲ保護シテ社會上及經濟上ノ地位ノ上進ヲ計ラサルヘカラサルナリ之レカ爲メニハ行フヘキノ事項極メテ多シト雖其主ナルモノヲ述ブレハ左ノ如シ

- 一 小作人ヲシテ永住安堵セシムル方法ヲ講スルコト
- 一 小作人ヲシテ恒産ヲ作ラシムル方法ヲ講スルコト
- 一 小作人ノ智徳啓發ノ方法ヲ講スルコト
- 一 小作人ノ農事獎勵ノ方法ヲ講スルコト
- 一 小作人ニ必要ナル農業資金ノ融通ヲ圖ルコト
- 一 小作人ノ副業獎勵ヲ圖ルコト
- 一 小作人ヲシテ家畜ノ飼養ヲ爲サシムルコト
- 一 小作人ヲ表彰スルコト

右ノ事項ヲ遂行スル上ニハ直接官廳力之ニ對シ施設ヲ爲スコト難キモノアレハ現今既ニ各地ニ設立セル地主會ハ略ホ之レト同一ノ事業ヲ爲スヲ以テ目的トセルカ故ニ地主會ヲシテ活動セシメ該會ヲシテ之レカ保護獎勵ニ對シ一段ト力ヲ盡サンムルコト緊要ナリトス官廳モ又地主會ニ對シ放任スルコトナク常ニ事業ノ遂行ニ對シ督勵ヲ加ヘ援助ヲ與フルコトヲ爲ササルヘカラス

斯ノ如ク地主會ノ活動ニ依リ小作人ノ保護ヲ計ルト共ニ更ニ進シテ本道ニ對シ一ノ小作條例ヲ制定シ地主ト小作人間ノ關係ヲ圓滿ニ處理シ以テ本道拓殖ノ發展ヲ計ルハ目下ノ急務ナリト信ス何ントナレハ既ニ屢々述ヘシ如ク本道ニ於ケル貸地農ノ面積頗ル廣ク自作農地三十一萬町步ニ對シ二十四萬七千餘町ニ上リ加フルニ自作兼貸地農ノ面積十一萬八千餘町步ニ及フアリ隨テ小作人ノ數モ亦頗ル多ク而カモ近來益々増加シ來リ將ニ自作農ヲ凌駕セントスル勢アリ而シテ此等小作人ノ出入ハ頗ル頻繁ニシテ常ニ甲農場ヨリ乙農場ヨリ丙農場ヘト轉住スルノ傾アリ隨テ地力ノ維持即チ施肥及耕作法ノ如キモ到底完全ニ之ヲ行フコト能ハス爲メニ地主ノ被ル損失モ決シテ對テカラサルノミナラス延テ本道農業ノ發展ヲ阻害スルコトモ亦大ナリ而シテ他ノ一方ヲ見ルニ地主ノ多クハ自己ノ所有地ニ居ヲ占メス之ガ管理ハ一ニ監督者ノ手ニ委ネ地主ト小作人ト直接相接スルノ機會少ナク鬼角意思ノ疏通ヲ缺ケルアリ殊ニ本道ハ府縣ト異ナリ開拓ニ着手セシ以來未タ多クノ歲月ヲ經過セズ地主ト小作人トハ多クハ元ト是レ郷國ヲ異ニセル未知ノモノニシテ府縣ニ於ケルカ如ク地主ト小作人トノ間ニ主從的關係アリ數百年來ノ慣習ニ依リ能ク圓滿ニ萬事ヲ處理スルモノト自ラ其事情ヲ異ニシ地主ト小作人トハ單ニ土地ノ貸主ト借主タルカ如キ一種ノ經濟的關係ニ過キスシテ未タ固定セル慣行モ少ナケレハ兩者ノ間紛爭決シテ稀ナラサルナリ故ニ此等ノ紛爭ヲ根絶シ地主ト小作人トノ利害ヲ圓滿ニ調和シ以テ本道農業ノ發展ヲ計ルカ爲メ本道ニ適切ナル一ノ小作條例ヲ制定スルハ必要ナリ之カ制定ハ今日ヲ以テ好時機ナリト信ス何トナレハ今日既ニ各地ニ貸地農行ハレ地主ト小作人トノ間ニ種々ノ慣行アリ既ニ多少ノ經驗ヲ積ミ來リタレハ此ノ經驗ヲ基礎トシテ以テ本道ニ最モ適應セル一ノ條例ヲ制定スルモ決シテ難事ニアラサレハナリ若シ今日ノ如キ好機ヲ逸シ小作條例ヲ制定セス之ヲ自然ノ儘ニ放任スルトキハ年月ノ經過スルニ從ヒ遂ニハ各地ニ種々難多ナル小作慣行固定シ或ハ爲メニ弊害百出スルニ至ルヤモ計リ難シ其ノ時ニ際シ之ヲ矯正センカ爲メ小作條例ヲ制定セントスルモ時期既ニ遅レ其困難ヤ今日ヨリ豫知シ得ヘシサレハ本道ニ於ケル地主ト小作人間トノ關係ヲ圓滿ニ且ツ適切ニ處理セント欲セハ未タ小作慣行固定セス而カモ多少ノ經驗ヲ積メル今日ノ好機ニ於テ適當ナル小作條例ノ制定ヲ斷行セサルヘカラス若シ夫レ此條例ヲ如何ニ制定スヘキカノ問題ニ至リテハ更ニ進シテ精細ナル研究ヲ重ネタル上ニアラスハ解決スル能ハサルナリ依テ今茲ニハ小作條例制定ノ必要ナル所以ヲ陳述スルノミニ止メントス

最後ニ監督農ニ至リテハ本道ニハ比較的其ノ數多ク總數三千四百四十一ニ上リ全農地管理數ノ三分三厘ニ相當ス是レ即チ府縣在住者カ本道ニ於テ土地ヲ有シ自カラ之ヲ監督シ能ハサルヲ以テ或ハ農場所在地ノ在住者ニ依頼シ或ハ特ニ監督者ヲ置キテ農場ニ關スル事務ヲ處理セシムルモノアルヲ以テナリ監督農ノ多クハ貸地農ニシテ自ラ農業ヲ經營スルモノ少シ而シテ中ニハ監督者ノ專横ニヨリ農場ト小作人トノ間ニ紛争絶ヘサルモノアリ農場ノ監督ヨリハ寧ロ政治運動等ニ熱中スルモノアリ農事上ノ智識ヲ缺クモノアリ小作人ノ保護獎勵ハ勿論土地ノ改良事業ノ如キ土地利用上爲スヘキノ施設ヲ等閑ニ附シ只小作料ノ徵集ノミヲ是レ事トスルモノアル等本道農業界ノ爲メ憂慮ニ堪ヘサルモノ尠シトセサルナリ

元來農地管理上監督農ナルモノニハ利害相伴ヒ其ノ利トスル所ヨリハ寧ロ弊害ノ多キハ各國ノ歴史ノ能ク證明スル所ニシテ新開ノ土地ヲ處分スルニ當リ土地ノ經營者ハ必ス其ノ農場内若クハ直接ニ農場ヲ管理シ得ヘキ距離ノ所ニ住居ヲ占ムルヲ以テ主要ナル一條件トナス邦國アルカ如キ能ク這般ノ消息ヲ窺フニ足ル從來ハ本道ノ拓殖事業ヲ進捗セシムル爲メ府縣ノ資本家ヲシテ此地ニ資本ヲ投入セシムルノ必要等アリテ一手ニ大地積ノ土地ヲ處分シ其ノ結果トシテ監督農ノ發生ヲ見ルニ至リシハ或ハ事情已ムヲ得サリシナラン然レトモ現今ノ狀態ヲ見ルニ既ニ貸地農ニ付キテモ其ノ數ノ一割三分其ノ面積ノ四割カ監督農ナルカ如キ其割合決シテ少ナリト謂フヲ得ス又以テ本道ノ農業界カ健全ナル發達ヲナシツ、アリト稱スル能ハサルナリ將來當局者ハ能ク此點ニ注意シテ以テ土地ヲ處分スルノ要アルナリ而シテ又現在本道ニ於ケル大地積ノ農場中兎角充分ニ成績ヲ擧ケ得サルモノアル所以ノモノハ種々ノ原因アリト雖主トシテ地主カ其所有地ニ住セス一ニ之ヲ監督者ノ手ニ委ネ而カモ既ニ述ヘシ如ク監督者其ノ人ヲ得サルモノニ基クモノナレハ成ル可ク地主自カラ土地管理ノ任ニ當ルコトヲ勉ム可シ若シ事情已ムヲ得ス監督農法ニ依ラサル可ラサルトキハ徒ラニ些細ナル經費ノ節約ヲ計ラヌ適當ナル待遇ヲナシテ以テ人格高ク農事ニ關スル智識ニ富メル人才ヲ需メテ其ノ局ニ當ラシムレハ獨リ所有者ノ受クル利益大ナルノミナラス延テハ能ク監督農ノ弊害ヲ矯制シ以テ本道ノ拓殖上ニ及ホス効果モ亦少ナカラサル可シ敢テ當事者ノ三省ヲ促ス

大正四年四月二十八日印刷
大正四年四月三十一日發行

北海道廳拓殖部

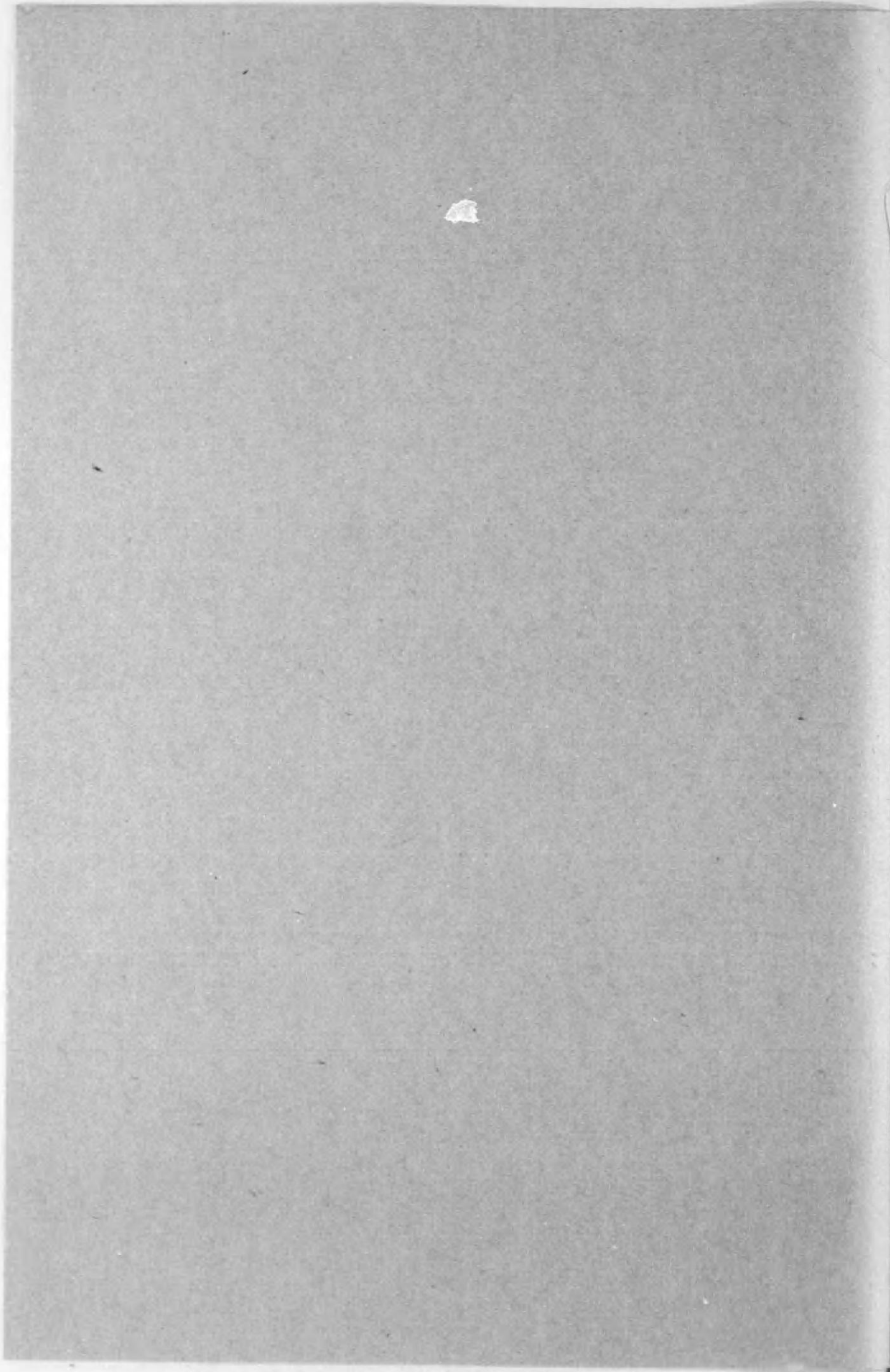
印刷者 山中 國松

札幌區北一條西三丁目貳番地

印刷所 文榮堂活版所

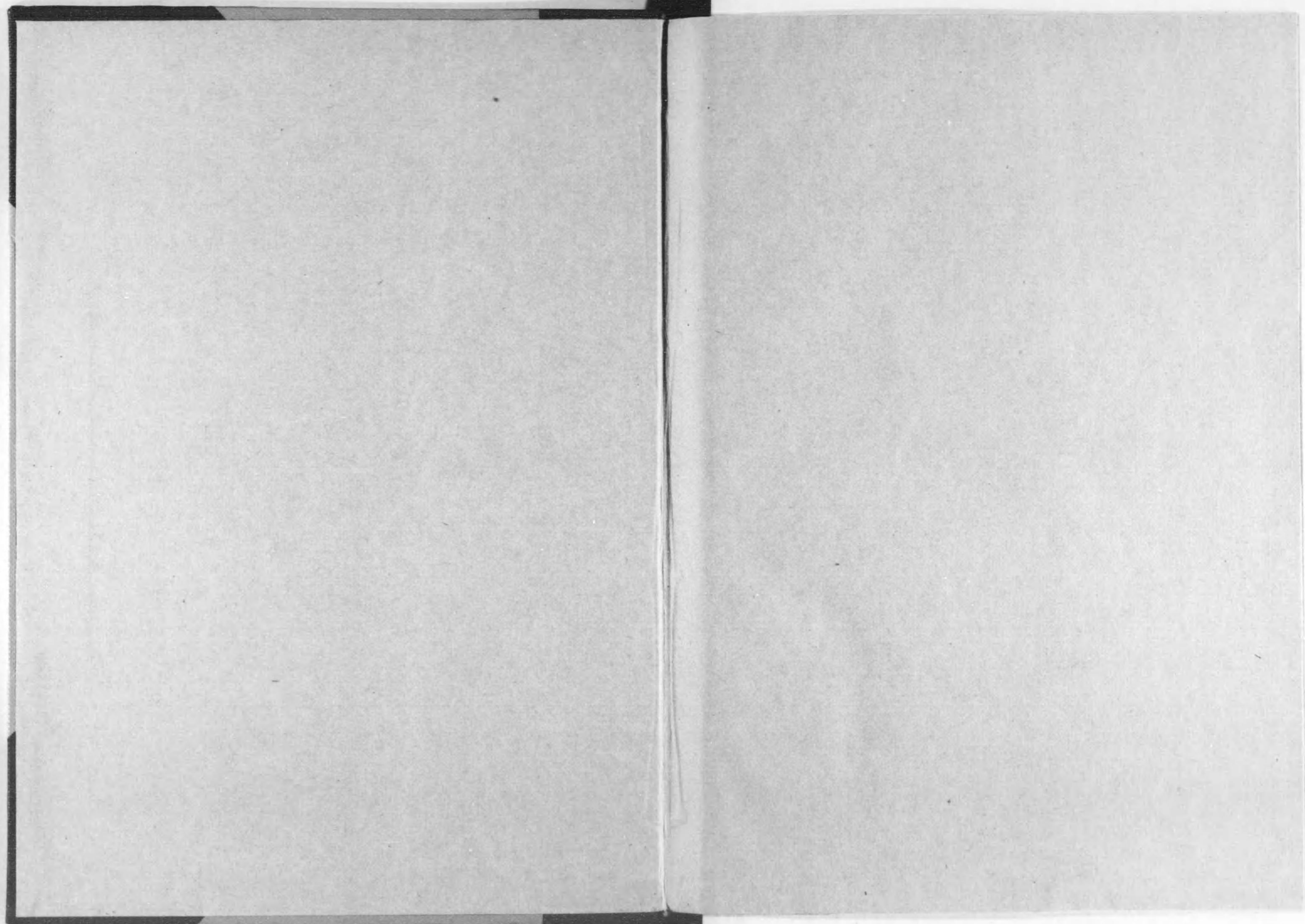
札幌區北一條西三丁目貳番地

電話百六十番



1960

58



終